

ファシリテーターの皆さん

加悦地域



京都産業大学現代社会学部  
教授 滋野 浩毅 氏

岩滝地域



福知山公立大学地域経営学部  
教授 谷口 知弘 氏

全体会



福知山公立大学地域経営学部  
准教授 杉岡 秀紀 氏

野田川地域



(一社) 地域問題研究所  
理事長 青山 公三 氏

1 会議の運営方法

会議のメンバーは住民基本台帳から無作為抽出された住民の方で構成されています。そのため、年齢、性別、居住地区、肩書などが異なる多様な住民の方々が参加することになり、多彩なアイデアや提案が出されることが期待できます。会議は加悦地域、

岩滝地域、野田川地域にそれぞれ設置し、次の専門家がファシリテーター※になって運営します。  
ファシリテーター  
会議などで場がスムーズに進むよう、客観的な立場で議論の進行や舵取りをしたり、参加者に意見を求めたり、決められた時間内に議論を収束させるなどの役を担う人

公共施設のあり方に関する町の考え方、地域デザイン会議や公共施設等総合管理計画（実施計画）のスケジュール等は、広報よさの7月号（No. 185）をご覧ください。



町公式HP

# よさの地域デザイン会議 スタート！

よさの地域デザイン会議  
年齢、性別、居住地区、肩書などが異なる多様な住民が参加して、持続可能なまちづくりにおける公共サービスのあり方、それに必要な公共施設のあり方について、対話により多彩なアイデアや提案を収集し、「公共施設再配置計画」の策定へつなげていくこと等を主な目的とした会議です。

特徴 1 専門家からの情報提供

専門家や行政から対話の基礎となる情報を提供します。基礎知識がない方でも対話に公平に参加できます。

特徴 2 少人数による対話・複数の結論

少人数で対話を行い、テーマごとにメンバーを替え、多彩なアイデアや提案を出し合いながら複数の結果が導き出されます。最終的にはいくつかの結果に整理できます。

特徴 3 結果の公開

対話の結果を整理し広く公開することで、公正・公平・信憑性を確保します。

2 会議の特徴

この会議には3つの特徴があります。



第2次与謝野町総合計画を策定する際に開催した「みらい会議」の様子。今回も「対話」による意見をまとめます。